

104	メシル酸ネルフィナビル	2～13才の小児に対する推奨用法・用量を20～30mg/kg TID (with a meal)から25～35mg/kg TID (with a meal)に変更すること、また2才以下の小児について有効用量の信頼性が結論付けられないことが示された。
105	塩酸パロキセチン	高齢者におけるパロキセチンの低ナトリウム血症の発現率が「使用上の注意」の記載より高い。
106	非ピリン系感冒剤	妊娠後期のアセトアミノフェンの服用は次世代での学童期喘息・喘鳴の原因になることが示唆された。
107	ゲフィチニブ	EGFRリン酸化を阻害すると、上皮細胞の再生が阻害されることにより、プレオマイシン誘発性の肺線維症が増悪することが示唆された。
108	塩酸レボカバスタチン	本剤のアレルギー性結膜炎に対する治療効果および予防効果をプラセボと比較した結果、有意差が認められなかった。
109	塩酸ダウノルビシン	腸壁肥厚の存在によって腸管の炎症の悪化が示唆された。腸壁肥厚のある患者では重篤な合併症を引き起こす可能性があり、注意深い観察が必要である。免疫低下患者が虫垂炎と診断されたら大腸壁の厚さを検査すべきである。
110	濃グリセリン・果糖	脳浮腫を伴う成人発症II型シトルリン血症には、グリセロールは危険である。
111	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ヌーナン症候群に合併する低身長に対し成長ホルモン療法を行なったところ、側弯症が発現、進行し手術を要した。
112	アロプリノール	コケイン症候群と診断された女兒にアロプリノールを投与したところTINを発症し、その後ファモチジン投与した際にも前回と同様の急性腎不全を発症した例
113	アセトアミノフェン	妊娠後期のアセトアミノフェン使用は出生児の喘息や喘鳴リスクを上昇させる。
114	コルヒチン	NSAIDsの長期服用により痛風関節炎症状が不顕性化されるも腎不全を併発し、服用中止後に全身性の多発関節炎を呈した痛風を発症した一例
115	硫酸モルヒネ	モルヒネへの高度の全身曝露が鎌状赤血球症患者における急性胸部症候群悪化のリスク増加と関連がある可能性がある。
116	ジノプロスト	ジノプロスト投与による血管攣縮に伴うnonocclusive mesenteric ischemiaの1例
117	酢酸テリパラチド	ラットがん原性試験の途中結果にて骨肉腫の発生が疑われたため、第II相試験参加被験者の追跡調査結果並びに中止した第III相試験結果の報告
118	カルボプラチン	治療抵抗性あるいは再発性の中等度悪性非ホジキンリンパ腫に対して、cytarabine(Ara-C)、carboplatin(CBDCA)およびprednisolone(PSL)併用療法を実施したところ、消化管出血および感染症の治療関連死2例が認められ、パラプラチンを含む化学療法との関連が否定できない。
119	プレドニゾン	プレドニゾンにより、重篤・未知な両側多発性腎梗塞を発症した症例
120	シクロホスファミド	幹細胞移植する患者において、イトラコナゾールとシクロホスファミドを併用すると、シクロホスファミドの活性代謝物4-ヒドロキシシクロホスファミドの濃度が高くなり、血清のクレアチニン濃度が上昇する恐れがある。
121	レノグラスチム(遺伝子組換え)	冠動脈疾患患者にG-CSF投与を行ったところ、重篤な有害事象2例(ST低下を伴う胸痛、トロポニンI/CK-MB増加、心筋梗塞、死亡)が認められた。
122	ジノプロスト	グリセリン浣腸、ジノプロストの投与が誘因となり非閉塞性腸管虚血症(NOMI)を発症した症例
123	エストラジオール	Women's Health Initiative (WHI) 試験における追跡調査において、子宮摘出を受けた閉経後女性に対してエストロゲン単独投与を行うことにより、股関節部骨折リスクは減少したが、脳卒中リスクは増加した。また、冠動脈性心疾患(CHD)の発現率には影響しなかった。付帯的な疾患イベントの発現率は、CEE群とプラセボ群で同等であり、全般的な有益性は認められず、CEE投与は閉経後女性における慢性疾患の予防のための使用は推奨すべきではない。

124	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム	メチルプレドニゾロンナトリウム投与後に白血球減少が発現した。
125	エストラジオール	閉経後のホルモン療法により、尿失禁のリスクが上昇することが示唆された。
126	アスコルビン酸	閉経後の女性において食事やサプリメントからのビタミンCの摂取により乳癌の発生率が上昇する。
127	タクロリムス水和物	原発性胆汁性肝硬変(PBC)のため肝移植を実施し本剤を基本とした免疫抑制を行なった患者において、PBCの再発率が高く、再発までの期間もciclosporinに比べて有意に短縮していた。
128	塩酸チアミン	一過性の壁肥厚を伴う特異な経過をたどった脚気心の一例
129	エストロゲン	エストロゲン単独投与のホルモン補充療法により、脳卒中発現のリスクが上昇する。
130	メシル酸ペルゴリド	ペルゴリド投与中の患者にとって拘束性心臓弁膜症は稀な所見ではない。医師は、心臓弁膜症が診断された場合は非麦角製剤に変更を考慮すべきである。
131	エストリオール	WHI試験において、子宮摘出を受けた閉経後女性に対するエストロゲン単独投与は、股関節部骨折リスクを減少させたが、脳卒中リスクを増加させた。また、CHDの発現率には影響せず、乳癌のリスク低下の可能性については今後の研究が必要である。付帯的な疾患イベントの発現率は、CEE群とプラセボ群で同等であり、全般的な有益性は認められず、CEE投与は閉経後女性における慢性疾患の予防のための使用は推奨すべきではない。
132	日本脳炎ワクチン	日本脳炎ワクチン接種後に発症したADEMの1例
133	ゼラチン	スポンゼルを使用した子宮動脈塞栓術において、白血球増加 9000-17000(平均12200)、CRP増加 2-14、硬膜外チューブ抜去後の軽度～中等度の腹痛があった。
134	コバス アンプリコア STD-1	当該製品において測定結果の判定法の変更が必要となった。
135	酢酸ゴセレリン	ホルモン療法下の前立腺癌患者を対象とした3つの臨床試験においてQT間隔の延長が発現した。
136	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	静注免疫グロブリン投与後に輸血関連急性肺障害を生じた可能性がある一症例
137	組換え沈降B型肝炎ワクチン	B型肝炎ワクチン接種後に血小板減少性紫斑病を生じた乳児の一例
138	ラクツロース	下剤がアセノクマロールまたはフェンプロクモンとの投与中に過剰な抗凝固作用に関係しているという大規模集団コホート試験における追跡調査を実施した。
139	硫酸モルヒネ	キニジンとの併用での血漿モルヒネ濃度が上昇し、モルヒネ効果が増強するおそれがある。
140	エポエチン α (遺伝子組換え)	FDAの公聴会で下記の問題点が指摘された。1)エリスロポエチン投与が血栓症・心血管系有害事象を増加させる可能性がある。2)エリスロポエチン投与が、腫瘍増殖を介してがん患者の生存率を低下させる可能性がある。
141	ピペラシリンナトリウム	ペントシリンがin vitroで血清中アスペルギルス抗原(ガラクトマンナン)の検査で陽性反応を呈する。
142	塩酸エタンブトール	肺結核患者の長期入院患者は外来治療移行が困難な要因を複数有しており、入院治療を継続せざるを得なかった。在院期間短縮のためには、退院後服薬支援、生活支援、外来機能向上が必須であると考えられた。
143	イブプロフェン	薬剤性の劇症肝炎の1例
144	アンプリコアSTD-1	測定結果の擬陽性率が高かった。
145	フェノバルビタール	ガンマグロブリン大量投与が無効であったフェノバルビタールによるTEN型薬疹の1例
146	小青竜湯	小青竜湯ドリンク剤による血小板減少症の1例
147	カルバマゼピン	カルバマゼピンとシンバスタチンの相互作用によるシンバスタチン及びシンバスタチン酸の血漿中濃度が減少した。
148	塩酸チザニジン	フルボキサミンによるチザニジンの作用が増強した。

149	塩酸セリプロロール	オレンジジュースによりセリプロロールのバイオアベイラビリティが減少した。
150	コルヒチン	コルヒチンによる重篤な腎不全が発症した症例
151	アルファカルシドール	alfacalcidolとtrichlormethiazide投与中に高Ca血症を来たした症例報告
152	アモキサピン	三環系抗うつ剤等の環状抗うつ剤(TCAs)の用量が増加すると、用量依存的に心臓性突然死のリスクが高まる。
153	ジノプロスト	プロスタグランジンF2 α の点滴による強直性の子宮収縮起こした症例
154	塩酸ヒドララジン	ヒドララジンは、血管内皮細胞のアポトーシスを誘導する。
155	塩酸チザニジン	チザニジンとフルボキサミンの併用により、チザニジンの代謝が阻害され血中濃度が大幅に上昇し有害事象が発現した。
156	ホリナートカルシウム	本剤の臨床試験において、本剤との因果関係が完全には否定できない死亡例が報告された。(脱水と電解質欠乏の結果、心停止による死亡例)
157	メシル酸ペルゴリド	パーキンソン病患者において、一般的な人口母集団で予測される弁異常に比べ、ペルゴリドの慢性投与が心臓弁疾患の発現頻度を増大させている。
158	塩酸チアミン	TPN液が調製され、それらが点滴投与される状況ではチアミンの安定性はほぼ保たれていること、また、文献の安定性データはチアミンの安定性を推定する根拠として信頼できることが確認された。
159	リン酸デキサメタゾンナトリウム	本剤投与後に菌血症、無顆粒球症が発現した1例が報告された。
160	アンプレナビル	アンプレナビルとロピナビル/リナビル併用療法において、ロピナビルはアンプレナビル濃度を顕著に低下させる。
161	塩酸ピラルビシン	進行乳がんにおけるピラルビシンを用いた術前化学療法ACの効果と毒性
162	エポエチン β (遺伝子組換え)	がん化学療法に伴う貧血へのエリスロポエチン製剤投与と生存率及び腫瘍増殖、心血管系の血栓塞栓症についての関連性が議論された。
163	プラバスタチンナトリウム	高コレステロールのためプラバスタチンを開始2~3週間後に、全身の筋痛と筋脱力を呈したため薬剤を中止した。
164	デキサメタゾン	生後早期のデキサメタゾン療法が学齢期における神経運動機能と認知機能に重大な障害をもたらす頻度が高い。
165	ヒアルロン酸ナトリウム	ヒアルロン酸ナトリウムはEMR時の遺残癌細胞増殖を促進する。
166	リバビリン	核酸系逆転写酵素阻害剤3剤併用したHAART(多剤併用療法 (highly active antiretroviral therapy))を施行している患者において、肺炎に重度の乳酸アシドーシスを発現し死亡に至るなど、臨床的に重大なミトコンドリア毒性の危険性が示された。
167	ブデソニド	慢性閉塞性肺疾患患者において、現在高用量の吸入コルチコステロイド剤を使用していることと非脊椎骨折のリスク増大との関連性が認められた。
168	シスプラチン	放射線照射による脳の白質化について、因子別に検討すると、プラチナ系薬剤(シスプラチン)を含む化学療法を用いた症例で有意に発生頻度が高かった。
169	スルピリド	スルピリド等の抗精神病薬服用中の患者に顔面紅潮、発汗等の症状が発現した。
170	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	ホルモン避妊薬の使用は、HIV-1感染のリスクを増加する可能性がある。
171	テガフル・ウラシル	直腸癌に対し、OK-432/MMC/5-FU/UFT(D群)、MMC/5-FU/UFT(E群)、手術のみ(F群)のRCTを行い、安全性について検討したところ、D,E群はF群に比較し、血液障害、食欲不振、嘔気・嘔吐、下痢、呼吸系障害(具体的な事象名不明)において有意差を認めた。
172	ヒトインスリン	インスリン治療開始後に治療後痛性神経障害が発現した症例
173	プレドニゾン	プレドニゾンによる重篤なステロイドミオパチー、尿路感染症、敗血症が発症した症例
174	塩酸ミトキサントロン	本剤を含む併用療法の臨床試験において、本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。(感染症による死亡例)
175	塩酸ミトキサントロン	本剤を含む併用療法の臨床試験において、本剤との関連性の完全には否定できない死亡例が報告された。(感染症による死亡例)

176	プロピオン酸ベクロメタゾン	高齢者において吸入ステロイド剤を高用量長期間使用すると骨折のリスクが高くなる。
177	エストラジオール	閉経後のホルモン補充療法により尿失禁のリスクが上昇することが示唆された。
178	プレドニゾン	結節性多発動脈炎の患者においてプレドニゾン投与中に感染症を併発し、その後死亡した1症例報告
179	イトラコナゾール	グレープフルーツジュースの反復摂取はHP-β-CD-ITZ200mg経口液剤投与被験者においてITZの全身アベイラビリティに中等度に影響を与えた。
180	フィブリノゲン加第13因子(3)	乳び胸に対して電気凝固法とフィブリン糊を用いた手術後に深部静脈血栓が発現した。
181	塩酸アマンタジン	アマンタジン中毒により意識障害、ミオクローヌス重積をきたし、脳波で周期性同期性放電(PSD)を認めた。
182	塩酸アマンタジン	複数の麦角系ドパミンアゴニストにより睡眠発作を呈したParkinson病の1例
183	塩酸ミトキサントロン	本剤を含む併用療法に関する臨床試験で、本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。(感染症による死亡例)
184	塩酸ミトキサントロン	本剤を含む併用療法に関する臨床試験で、本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。(感染症による死亡例)
185	塩酸アミトリプチリン	環状抗うつ剤の高用量投与による心臓突然死リスク上昇
186	肺サーファクタント	未熟児網膜症のリスクファクターの1つにサーファクタントの使用が含まれている。
187	ブスルファン	静注用Buの新たな投与スケジュールを検討した結果、2例の死亡が認められた。1例は多形紅斑に関連する合併症で、1例はVODで死亡した。
188	塩酸パパベリン	動脈瘤のくも膜下出血の後に脳の血管痙攣の治療に使用された動脈内のパパベリンの神経毒症状
189	リン酸コデイン	リン酸コデインによる過敏症症候群を起こした症例
190	ゼラチン	子宮筋腫の治療にスポンゼルを動脈塞栓術に使用した時、月経痛様の疼痛、感染が起こることがある。
191	ゼラチン	子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術は初期治療成績として高い症状改善率と満足できる腫瘍縮小率をしめしており、その低侵襲性からも子宮筋腫の治療法として認められつつある。
192	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	本剤及びDocetaxel併用試験で、予測不可能で重篤な有害事象が発現した。
193	水酸化アルミニウムゲル・水酸化Mg	幼児の長期制酸剤投与後の代謝性骨疾患の例
194	ジクロフェナクナトリウム	OTC非ステロイド系抗炎症薬の服用に対する交差感受性は、アスピリン喘息のほとんどの患者で存在した(イブプロフェン98%、ナプロキセン100%、ジクロフェナク93%)。
195	塩酸ミノサイクリン	抗HTLV-1抗体陽性患者に発症した多剤薬剤過敏を伴ったFUMHDの1例
196	アムホテリシンB	治療関係骨髄異形成症候群(t-MDS)に対して行った同種末梢血幹細胞移植後早期に発症しTBLBで診断し得た肺接合菌症
197	トラフェルミン(遺伝子組換え)	bFGFの腫瘍内微小血管の促進が、腫瘍細胞の増殖の一因であることが示唆され、in vivoにおいてもbFGFにより腫瘍細胞の増殖が促進されることが示唆された。
198	塩酸ミトキサントロン	本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。
199	エストロゲン	閉経後女性に対するエストロゲンとプロゲステン併用のホルモンの補充療法により静脈血栓症のリスクが上昇する。
200	塩酸ゲムシタビン	非小細胞肺癌患者におけるドセタキセル(TXT)とゲムシタビン(GEM)weekly投与の用量決定試験で発現した肺毒性
201	塩酸バンコマイシン	米国における初めてのバンコマイシン(VCM)耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)の感染症例報告

202	マレイン酸フルボキサミン	フルボキサミンがチザニジンの代謝酵素であるCYP1A2を阻害する。
203	マレイン酸フルボキサミン	フルボキサミンがチザニジンの代謝酵素であるCYP1A2を阻害する。
204	塩酸ミトキサントロン	本剤との関連性が完全には否定できない死亡例が報告された。(感染症による死亡例)
205	ベザフィブラート	コレステラミンとベザフィブラートを同時に併用するとベザフィブラートの吸収が低下する。
206	ヘパリンナトリウム	ヘパリン起因性血小板減少症を基礎疾患として有する患者において、ヘパリンを再曝露した場合、生命を脅かす急性心肺症状を呈するおそれがある。
207	塩酸バンコマイシン	VCM、アルベカシン(ABK)、TEICなどに耐性のグラム陽性球菌あるいはmetallo- β -lactamase産生緑膿菌と考えられる株は見られなかった。
208	メロニダゾール	幹細胞移植患者にブスルファンとメロニダゾールとの併用で、ブスルファン血漿濃度が上昇する。
209	ランソプラゾール	ランソプラゾールはラットにおいて十二指腸胃逆流による胃癌発生作用を増強する。
210	プロピオン酸ベクロメタゾン	COPD患者において吸入ステロイド剤を高用量使用すると骨折のリスクが高くなる。
211	アレンドロン酸ナトリウム	ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死
212	アレンドロン酸ナトリウム	ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死
213	メルカプトプリン	高齢者の急性骨髄性白血病患者(AML)に対する低用量化学療法(エノシタピン、ダウノルビシン及びメルカプトプリン)による多施設臨床試験において、化学療法誘発性の骨髄形成不全中の感染症のため6名が死亡し、Grade 4の副作用が7例(感染症3例、腸疾患2例、心臓疾患1例、肺疾患1例)みられた。
214	メルカプトプリン	高齢者の急性骨髄性白血病患者に対する寛解導入療法の多施設無作為比較試験において、BH-AC/DM(エノシタピン(BH-AC)+メルカプトプリン(6MP)+ダウノルビシン(DNR))群において、化学療法誘発性の骨髄形成不全中の感染症のため4名が死亡した。
215	クエン酸タモキシフェン	タモキシフェン及びエストロゲンがDNA損傷の修復能を欠損させた細胞系で遺伝毒性を示した。
216	メトトレキサート	成人急性リンパ性白血病(ALL)の治療方法を検討した試験において4例の早期死亡(脳出血:1例、アスペルギルス症:1例、消耗症候群:2例)が報告された。
217	メトトレキサート	1993~1998年の間に576例が登録された急性前骨髄球性白血病(APL)治療におけるAPL患者の長期転帰を調査した結果、敗血症、心不全、出血、骨髄異形成症候群(MDS)による死亡がそれぞれ20例、4例、2例、2例報告された。
218	ワルファリンカリウム	Warfarinとcranberry juiceとの相互作用の症例報告
219	ジクロフェナクナトリウム	ジクロフェナクナトリウムの投与により全身に薬疹が発現し、治療、経過観察中に同一成分(ジクロフェナク)の坐剤を使用したところ、皮疹が再燃した例
220	ソマトロピン(遺伝子組換え)	成長ホルモン(GH)を投与した成人成長ホルモン欠損症患者(AGHD)において、男性では関節痛が、女性では浮腫が多く観察されるなど、男女間で副作用の発現傾向に違いが認められた。
221	ウルソデスオキシコール酸	輸入脚空腸憩室穿孔に随伴した特異な腸石の1例を経験した。
222	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	経口避妊薬の使用は、糖尿病のリスクを増加する可能性がある。
223	トリクロルメチアジド	trichlormethiazideにより、重篤な高Ca血症が生じた症例
224	ラクツロース	肝性脳症患者における非吸収性二糖類(ラクツロースおよびラクチトール)の効果を評価するために行われた、22件の臨床試験の系統的レビューの結果